

半期報告書の訂正報告書

本書は、E D I N E T (Electronic Disclosure for Investors' NETwork) システムを利用して金融庁に提出した半期報告書の訂正報告書の記載事項を、紙媒体として作成したものです。

トーカロ株式会社

(331116)

目 次

【表紙】	1
【半期報告書の訂正報告書の提出理由】	2
【訂正事項】	2
【訂正箇所】	2
第一部 【企業情報】	3
第3 【設備の状況】	3
2 【設備の新設、除却等の計画】	3

【表紙】

【提出書類】 半期報告書の訂正報告書

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成17年6月21日

【中間会計期間】 第54期中(自 平成16年 4 月 1 日 至 平成16年 9 月30日)

【会社名】 トーカロ株式会社

【英訳名】 TOCALO Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 中 平 晃

【本店の所在の場所】 神戸市東灘区深江北町四丁目13番 4 号

【電話番号】 078 - 411 - 5561(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理副本部長兼経理部長 安 川 勝

【最寄りの連絡場所】 神戸市東灘区深江北町四丁目13番 4 号

【電話番号】 078 - 411 - 5561(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理副本部長兼経理部長 安 川 勝

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号)

-
-

【半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成16年12月20日付で提出致しました第54期中（自 平成16年4月1日 至 平成16年9月30日）半期報告書の記載事項につき、一部訂正を要する箇所がありましたので、証券取引法第24条の5第5項に基づき訂正報告書を提出するものであります。

【訂正事項】

第一部 企業情報

第3 設備の状況

2 設備の新設、除却等の計画

【訂正箇所】

訂正箇所は_____罫で示しております。

第一部 【企業情報】

第3 【設備の状況】

2 【設備の新設、除却等の計画】

(訂正前)

(2) 重要な設備の新設等

当中間連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設等は、次のとおりであります。

会社名	事業所名 (所在地)	部門名	設備の内容	投資予定額(千円)		資金調達 方法	着手年月	完了予定 年月	完成後の 増加能力
				総額	既支払額				
提出会社	明石工場 (兵庫県明石市)	溶射	DLC成膜装置	83,028	50,000	自己資金	平成16年 6月	平成16年 10月	—
提出会社	明石工場 (兵庫県明石市)	溶射	VPS真空制御盤	68,600	7,164	自己資金	平成16年 9月	平成17年 3月	—
提出会社	溶射技術 開発研究所 (兵庫県明石市)	溶射	研究開発設備等 新設	133,700	—	自己資金	平成16年 9月	平成16年 10月	—

- (注) 1 当社の加工品目は、受注生産のため極めて多種多様であり、生産能力を画一的に測定することは極めて困難であります。そのため、「完成後の増加能力」は記載しておりません。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3 DLCとは、ダイヤモンド・ライク・カーボンの略で、高真空中でのプラズマプロセスであるイオンプレーティング法により成膜する表面改質法のことであります。
4 VPSとは、バキューム・プラズマ・スプレーシステムの略で、減圧下のアルゴンガス環境で、プラズマを熱源として溶射を行う表面改質法のことであります。
5 研究開発設備等の新設は、今まで本社(神戸)地区と明石地区の2か所に分散しておりました溶射技術開発研究所の機能を、平成16年10月より明石地区に統合することに伴うものであります。

(訂正後)

(2) 重要な設備の新設等

当中間連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設等は、次のとおりであります。

会社名	事業所名 (所在地)	部門名	設備の内容	投資予定額(千円)		資金調達 方法	着手年月	完了予定 年月	完成後の 増加能力
				総額	既支払額				
提出会社	明石工場 (兵庫県明石市)	溶射	DLC成膜装置	83,028	50,000	増資資金	平成16年 6月	平成16年 10月	—
提出会社	明石工場 (兵庫県明石市)	溶射	VPS真空制御盤	68,600	7,164	増資資金	平成16年 9月	平成17年 3月	—
提出会社	溶射技術 開発研究所 (兵庫県明石市)	溶射	研究開発設備等 新設	133,700	—	自己資金	平成16年 9月	平成16年 10月	—

- (注) 1 当社の加工品目は、受注生産のため極めて多種多様であり、生産能力を画一的に測定することは極めて困難であります。そのため、「完成後の増加能力」は記載しておりません。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3 DLCとは、ダイヤモンド・ライク・カーボンの略で、高真空中でのプラズマプロセスであるイオンプレーティング法により成膜する表面改質法のことであります。
4 VPSとは、バキューム・プラズマ・スプレーシステムの略で、減圧下のアルゴンガス環境で、プラズマを熱源として溶射を行う表面改質法のことであります。
5 研究開発設備等の新設は、今まで本社(神戸)地区と明石地区の2か所に分散しておりました溶射技術開発研究所の機能を、平成16年10月より明石地区に統合することに伴うものであります。
6 資金調達方法の「増資資金」は、平成16年8月18日払込みの公募増資による手取金の一部であります。